

## 農 問 研 ニュース 第2号

2006年3月27日

### 本号の内容

1. 2005年度秋大会について
2. 学会設立50周年記念事業への取組みについて
3. 会員拡大の推進について
4. その他諸連絡

---

### 1. 2005年度秋季大会が開催されました

去る2005年11月26日(土)に、東京都内の農林水産省農林水産政策研究所におきまして2005年度秋季大会が開催されました。例年、秋大会では若手研究者を中心とした個別報告を行っておりますが、今年は大テーマを「新『基本計画』の実現可能性とわが国農業の展開方向」として、エントリーされた個別報告をテーマに応じて2つのセッションに分け、セッション討論と総合討論を行いました。報告者と報告内容は以下のとおりです。

#### セッション1:「地域農業・資源管理の担い手問題」

座長:長濱 健一郎(農政調査委員会)

第1報告:「借り手市場下における農地管理と担い手育成 - 地域の農地管理の態様が土地利用型経営の形成に与える影響についての一考察 - 」

平野 信之(中央農業総合研究センター)

第2報告:「地域資源管理からみた集落営農組織の地域性に関する一考察」

吉岡 徹(酪農学園大学)

第3報告:「資源管理における援農活動の位置づけと展開可能性」

江川 章(農林水産政策研究所)

#### セッション2:「地産地消と食品産業連携」

座長:野見山 敏雄(東京農工大学)

第1報告:「『地産地消』の展開条件と課題に関する一考察 - 神奈川農畜産物供給センターにおける取り組みを中心に - 」

小林 茂典(農林水産政策研究所)

第2報告:「地産地消の拠点施設としてのファーマーズマーケットと今後の展開」

加藤 美紀(地域社会計画センター)

第3報告:「水田単作地帯で女性達が立ち上げたファーマーズマーケット」

高橋 テツ(JAいわて花巻)

個別報告に基づくセッション討論という新しい試みでしたが、大会当日は64名が参加し、熱心に討論が行われました。

## 2. 学会創立50周年記念事業の取組みについて

農問研は本年（2006年）創立50周年を迎えました。この節目の年に、常任幹事会ではこれまでの研究成果の蓄積を総括し、かつ新しい研究課題や方法論の構築を行うべく、様々な記念事業を企画していく予定です。会員皆様のご協力のもと、学会活動のより一層の活性化を図っていきたいと考えます。

### （1）大会シンポジウムを活性化し、議論を通じて課題を明らかにします

2006年度春季大会（3月29日）では「『グローバル資本主義』下の農業問題 - 農業問題研究の新たな地平を求めて - 」と題して、農問研で議論されてきた主要テーマである地域労働市場論、農業生産力論、政策論に焦点を当てて、今後の課題と方法について議論をする予定です。

また秋季大会では、春季大会の議論を踏まえた実証研究を中心とした個別報告、また学会創立50周年記念講演を企画しております。

### （2）学会賞を創設し、優れた研究や若手研究者の奨励に努めます

幹事会では会員による優れた研究成果に対して、また若手研究者の奨励を目的として、「学術賞」と「奨励賞」からなる「農業問題研究学会賞」を創設することを承認しました。2006年度総会において承認を得られれば、2007年度総会において第1回学会賞の授与が行われる予定です。学会賞の受賞を目指し、会員間相互の切磋琢磨を期待します。

### （3）50周年記念出版を行い、研究蓄積の整理と今後の研究課題や新しい方法論の構築を目指します

大会シンポジウムでの議論や集団的な研究を踏まえ、その結節点として農問研編集による著作の刊行へ向けた取組みを進めます。シンポジウムテーマや報告者の選定なども著作の構成等を意識して行い、50周年にふさわしい新たな橋頭堡とすべく、力を注いでいきます。幹事会では「記念出版編集委員会」の組織を進め、固まり次第会員皆様に報告いたします。

## 3. 会員拡大の推進について

大会シンポジウムや50周年記念事業とも連動しつつ会員数を増やすことは、学会活動の活性化にとって何よりも大切な取組みです。会員の皆様に呼びかけの文書をお送りしたり、幹事の皆さんが率先して会員拡大に取り組んだ結果、2005年度会員数は期首会員数286名より10名増の296名になりました。常任幹事会では2007年度春季大会までに、350名への拡大を目標に取り組んでいます。院生などの若手研究者とともに、普及員や農業団体職員への呼びかけが功を奏しているとの報告も寄せられております。ぜひ会員一人ひとりが

身近にいる農業問題へ関心をお持ちの方にお声がけをお願いいたします。見本誌として、学会誌「農業問題研究」やシンポジウム予稿集も配布しておりますし、入会申込用紙もお送りいたしますので、活用をご希望の方は事務局までご連絡下さい。

#### 4. その他諸連絡

(1) 2006年度秋季大会の概要をお知らせいたします。

2005年度秋季大会内容

内 容：個別報告と50周年記念講演

日 時：2006年10月27日(金) 10:00~17:00(予定)

場 所：東京農工大学農学部キャンパス(東京都府中市幸町3-5-8)

大会案内、個別報告のエントリーのご案内、記念講演者名は追って送付いたします。多数のご参加をお願い申し上げます。

(2) 会費納入がまだの方は、至急振込みをお願い申し上げます

2005年度会費納入対象者305人のうち、146の方が2005年度分までの会費をお納め頂いておりません。振込み金額等が不明な方は、事務局までご連絡下さい。

農問研郵便振替：00130-3-103088

(3) 「農業問題研究」の投稿論文を随時受け付けております

会誌末尾の「投稿要領」及び「執筆要領」をご参照の上、奮ってご投稿下さい。

以上